

平成27年度 第2回役員会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 平成28年2月4日(木) 15時00分～17時30分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2F会議室
3. 出席者 支部長：橋本親典
幹事：上田隆雄, 甲斐芳郎, 古田満広, 松島学
常任委員：紙田直充, 唐渡法保, 川邊敏弘, 島弘, 高田岳志, 細川高志,
藤井禎, 横井克則, 松田耕作, 吉田秀典, 吉田幸稔
支部監事：水越睦視
本部理事：氏家勲
(事務局) 新居宏美

計19名

4. 配付資料

- 2-0：議事次第, 出席者名簿
 - 2-1：平成27年度第1回役員会議事録(案)
 - 2-2：平成27年度活動状況および今後の予定
 - 2-3：平成27年度収支決算(案)【平成27年12月末】・平成28年度収支予算(案)
 - 2-4：平成28年度事業計画(案)
 - 2-5：平成27年度第2回役員会参考資料
 - 2-6：JCI本部選挙管理委員会メール
 - 2-7：JCI本部助成金事業延期理由
- 別冊：JCI四国支部設立10周年記念誌 draft(回覧)

5. 審議事項

橋本支部長より役員会開催に当たり挨拶があり, その後, 各議題について審議が行われた。審議結果は, 以下のとおり。

(1) 平成27年度第1回役員会議事録の確認(資料2-1)

平成27年度第1回役員会議事録(案)について事務局より説明がなされ, 承認された。

(2) 平成27年度事業報告案および収支決算案について(資料2-2, 3, 5)

これまで実施した事業内容, 3月末までの事業活動予定および平成28年3月末までの収支決算見込み案について事務局より説明がなされ, 一部修正し承認された。主な報告内容および審議結果等は以下のとおり。

- ・ 橋本支部長より, 12月28日に開催された支部設立10周年記念誌編集委員会の概要について説明があった。
- ・ 「各種混和材料のコンクリートへの積極利用による高性能の付与に関する研究委員会」の活動について, 氏家委員長より報告がなされた。主な内容は, 以下のとおり。

2年間で委員会を5回開催し、今年度末に成果報告書(約250頁)を作成する。また、来年度に成果報告会を開催する計画である。

なお、成果報告書作成費は支部から補填し委員会費の今年度決算で処理することにした。

- ・「四国の生コン技術力活性化委員会【第2期】」の活動について、古田幹事より報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

成果報告として6編の論文を年次大会2016に投稿した。3月15日に生コンセミナー in 徳島と合同で報告会を開催する。

また、島委員長より成果報告書作成費を支部より補助していただいたことに対して謝意が述べられた。なお、成果報告書作成費の処理については、これまでも委員会によって異なっており、橋本支部長より委員会活動費等で処理できない場合は支部より支出することが提案され、今後の基本方針とすることが了承された。

- ・「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」の活動について、橋本支部長より報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

これまで委員会を2回開催した。今年度3回目の委員会を2月22日に高知県の町で開催する予定である。

- ・「生コンセミナー in 徳島」の開催予定および収支予算案について上田幹事より報告がなされた。また、各役員に対し関係者への参加呼びかけの要請があった。

- ・「生コンセミナー in 徳島」の開催案内に支部主催の講習会では初めてCPDおよびCPDSに関して説明文を掲載しているが、CPDあるいはCPDSが必ず認められる講習会にはなっていない。参加者に対しより有益になるよう、JCI(本部・支部)主催の講習会がCPDあるいはCPDSを認められる仕組みにすることを氏家本部理事より本部へ提案してはとの意見が出された。また、CPDの登録業務をしている土木学会あるいはCPDSの土木施工管理技士会と共催して講習会を開催すれば、認められるとの意見も出され、来年度以降の支部主催講習会での対応を以下のとおりとする。

JCIとの関連が強い土木学会に講習会の共催、あるいは後援を要請し、CPDの発行を依頼する。手数料は、共催の場合「無料」、後援の場合「6,000円」である。原則として共催を優先し、困難な場合は後援とする。

- ・平成27年度収支決算(案)(3月末見込み)が確認された。
- ・今年度実施した「塩害劣化を受けたコンクリート構造物の耐荷力評価に関する講習会」および「コンクリートサミット in 高知」の開催内容を参考資料に追加する。

(3) 平成28年度事業計画案および収支予算案について(資料2-3, 4, 5)

事務局より平成28年度事業計画案および収支予算案について説明がなされ、一部修正し承認された。また、研究委員会、講習会および現場見学会について担当委員より説明がなされた。主な承認事項および修正事項等は以下のとおり。

- ・ 研究委員会 4 件（継続 1 件および新規 3 件）が承認された。
 - ①「四国のコンクリート構造物インフラドック実現に向けた調査研究委員会」【継続】
委員長：渡辺健（徳島大学）
 - ②「四国の生コン技術力活性化委員会【第 3 期】」【新規】
委員長：橋本親典（徳島大学）
 - ③「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」【新規】
委員長：橋本親典（徳島大学）・・・四国支部長が担当
本委員会は常設委員会とし、高専や工業高校のコンクリート関連の教育テーマの検討およびコンクリート甲子園の支援等について審議する。
 - ④「次世代のコンクリート構造物の劣化診断に関する特別研究委員会」【新規】
委員長：橋本親典（徳島大学）・・・四国支部長が担当
本委員会は支部設立 10 周年記念特別委員会とする。

予算は、①および②が 25 万円、③が 20 万円、④が 50 万円の計 120 万円とする。
また、②と④についてはコンクリート工学誌 5 月号、または 6 月号で委員を公募する。
- ・ 総会後の特別講演を支部設立 10 周年記念特別講演とする。
- ・ 平成 28 年度予算で「旅費・交通費」が 2 万円計上されている。前年度の実績を参考に予算化したとのことであるが、必要であることを説明できるようにする。
- ・ 現場見学会は NEXCO 案が承認された。

(4) 委員選出の件について（資料 2-6）

JCI 本部の委員を以下のとおり選出した。

- ・ 平成 28・29 年度支部選出理事：甲斐芳郎
- ・ 平成 28・29 年度支部選出代議員選挙管理委員会委員：上田隆雄

(5) JCI 四国支部設立 10 周年記念誌発刊について（別冊）

10 周年記念誌をカラー版とし、54 万円の支出が承認された。また、年度内に完成させ関係者へ発送することになった。

(6) その他

- ・ 助成金等の支部の活動や支部と本部との関係を明確にした新しい支部規定の改定については本部より提案される予定である。提案されしだい、メール審議(役員会)により対応することが確認された。(資料 2-7)
- ・ 渡辺常任委員より体調不良により辞任の申し出があった。平成 28 年度総会で後任を決定する。なお、建築関係の委員であることから、後任については松島・甲斐幹事に一任する。
- ・ 平成 24 年度・25 年度に活動した「鉄筋コンクリート造耐震壁の開口の取り扱いに関する

る研究委員会（委員長：高知工科大学 甲斐芳郎）」の成果報告書が支部 HP に掲載されていることが紹介された。また、4月の役員会ではプリントアウトし回覧することになった。

以上

（記録者：古田 満広）